

佐保会兵庫県支部だより

第 21 号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市中央区山本通り4-2-9
〒650 TEL・FAX 078-221-3361



旧平安邸（国登録文化財）

川西市郷土館提供

印部すゑこ先生

浅野 晶子（S23・家）

私共の尊敬してやまない偉大なる先輩、印部すゑこ先生が、去る平成九年四月四日、満九十歳のお誕生日を目前にして、忽然として天国に召されました。

当日午後、兵庫県立近代美術館での横尾忠則展の開会式に出席され、その後知人と歓談され、ご機嫌よく帰宅された直後、心筋梗塞による一瞬のご最期とのことです。

ご家族は勿論、知人友人一同、未だに信じられない気持ちですが、一番ご本人がびっくりしていらっしやるのではないのでしょうか。そのくらいお元気でしたのに…。

先生は淡路のご出身で奈良女高師に進学された頃は、学校長が薦挙した中から、地方長官が推薦し、さらに選抜されるという難関で平均競争率は六、七倍であったそうです。

卒業後、義務期間を愛媛で過ごされ、結婚出産と東京での生活、僅か四年でご主人に先立たれます。その後お嬢さまと共に高知での教員生活、戦後母校の県立淡路高等女学校へ帰られますが、当時、日本の教育はGHQの指導下であり、種々の改革が行われた中で、小中学校に女性の管理職をとの指示で、兵庫県下初の女性校長の一人となりました。

あの混乱の時代に先生のご活躍振りはめざましく、その後県立盲学校校長、民生部婦人児童課長と常に女性の先頭を切って学校教育に、社会教育にと尽くされ、退職後は兵庫県教育委員、委員長としても重責をはたされました。

先生の一貫した姿勢は、真の教育者としてのバックボーンをもちながら、決して女性だからといって気負った素振りを見せず、ごく自然体に、男女共生の姿を地でゆかれたと思います。

まだまだご指導を得たかったのにと悔やまれますが、今はただご冥福をお祈りいたします。

おやかに

神戸ポートピアホテルで



総 会

5月25日、晴れ渡った初夏の日曜日、9年度の支部総会が、神戸ポートピアホテルで、会員82名の参加のもとに催されました。今回は若草の有志が、手作りしてこられた作品のバザーも会場内のコーナーでありました。

新入会員の自己紹介や、各方面の会員のすてきなお話を交えながら、プログラムが進行しました。母校の木村陽子先生のご講演を戴き、昼食会がもたれて歓談を楽しみました。

引き続き各部の報告があり、開校記念日の歌などをコーラスしたり、講師募集のお知らせや、催しものへのお誘いもあり、和やかな総会となりました。
井上千恵子 (S38家被)

プログラム

1. 開会のことば
2. 支部長挨拶
3. 新入会員紹介—自己紹介—
4. 議長選出
5. 議 事
 - (1) 8年度支部事業報告
 - (2) 8年度会計報告
 - (3) 8年度会計監査報告
 - (4) 9年度事業計画(案)
 - (5) 9年度会計予算(案)
 - (6) その他(検討・確認事項)
6. 記念品贈呈
 - (1) 卒寿のお祝
 - (2) 卒後55年のお祝
7. 講 演
「社会保障の構造改革」
奈良女子大学 生活環境学部
人間環境学科助教授 木村 陽子 先生
8. 会 食(洋食正餐)
9. 各部報告(8年度)
 - (1) 本部報告
 - (2) 佐保短大報告
 - (3) 大学婦人協会報告
 - (4) 佐保婦人学級報告
 - (5) 若草活動報告
 - (6) 支部だより編集委員紹介
10. 閉会のことば

哀 悼

窪川 道子様	S 20 理	H8. 11. 9 没
津田ひさ子様	S 16 家 A	H9. 1. 14 没
三浦 智春様	S 6 家	H9. 2. 3 没
印部すゑ子様	S 3 文	H9. 4. 4 没
鈴木 芳子様	S 44 家被	H9. 5. 5 没
菊澤 康子様	S 40 家住・S 42 家修住	H9. 7. 15 没



平成9年度

佐保会兵庫県支部総会

5月25日(日)

佐保の絆た

卒寿のお慶び

岩下ミツエ (S3・家)

徳山 文與 (S3・家)

平成9年度 新入会員紹介

氏名	学部	就職先
西郷めぐみ	理数	日本アイ・ピー・エム㈱
藤井 貴子	理化	
知久美穂子	家食	㈱安福又四郎商店
橋爪亜矢子	家被	㈱ワールド
渡邊由起枝	家被	㈱ワールド
梅谷 和美	文教	㈱但馬銀行
高丸 妥美	理数	松下電器健康保険組合
預り麻美子	文地	
徳原真由香	理生	
前田 真子	家住	奈女大大学院家政学研究所
石 純子	文教	コープこうべ
白木 裕子	文国	鹿島建設㈱
大岸 泰香	家食	神戸学院大学
齊藤 理絵	文教	㈱ロック・フィールド
粕淵真理子	文史	西宮市役所
石田 温子	文地	日本電信電話㈱
坂東 千夏	文教	(旧姓 和田)
小中公美子	家食	神大大学院自然科学研究所
園田 裕子	理生	ピアス㈱
坂東 史絵	家被	帝人㈱
古川真由美	文国	
大田 江麻	家生	奈女大大学院家政学研究所
大歳 笑代	理物	菱友システム技術
豊崎たか子	家住	㈱淀川木材センター
小路 徳子	文国	
天野 里香	理数	奈女大大学院理学研究所
井上 洋子	家被	井筒屋山下商店㈱
大森 美和	家被	㈱消費経済研究所
玉田 彩	理物	テス㈱
藤後 知子	文教	姫路市役所
大学院		
多田 稲子	家修住	
白石 円	理修情	
塩川 真理	文修地	神戸市こころのケアセンター
太田 明子	理修物	大王電機㈱
岩崎 典子	理修化	コープこうべ

— 講演 —

「社会保障の構造改革」

奈良女子大学生生活環境学部助教授

木村陽子先生 (S52家)



先生は昭和52年母校生活経営学科を経て、大阪大学大学院をご卒業され、財政、社会福祉、婦人問題等をご研究しておられます。新聞、テレビ等にもしばしば登場され、又、中央の男女共同参画2000年プランの委員でもいらっしゃいます。

今回は平成12年から実施されるべく審議中の介護保険について、先生ご自身がお父様を介護された体験談を交えながら、詳しく、分かり易く説明して下さいました。この制度は家族の介護の負担を軽くする為に、介護を社会全体で支えるものと期待されています。在宅介護や施設介護を本当に成功させる為には、介護される人本人が人生の終わりに対する気構えを持ち、又本人と家族との人間関係がよきものでなければならぬとお話し下さいました。介護はすべての人が避けて通ることのできない問題であるだけに、出席者全員が先生のお話に耳を傾け、高齢社会のあり方を考えさせられた有意義なひとときでした。

井上千恵子 (S38家被)

若草だより

若草総会レポート

支部総会に続いて若草の会が持たれました。本年度のテーマはこの会の創立以来ブールしてきまし
たバザーや音楽会などによる収益金の使い道について話し合いました。色々な意見がありました。大震災の時に佐保会よりお見舞い
ただいておりましたので、そのお礼として本部に謹呈する事にしました。(左記の文面は、頂きました
た礼状です。)

拝啓
益々ご健勝の段大慶至極に存じます
平素本会のため種々ご高配を賜わり
心からお礼申し上げます
この度本会に一、金参拾萬円也を
ご寄贈下さいましてご芳情の程ま
こと有難く深く感謝いたしてお
りす一言お礼を申し上げます 敬具
平成九年七月二十七日
社団法人 佐保会
理事長 長谷川千鶴
佐保会兵庫支部
若草殿



《手作りバザー盛況》

神戸ポートピアホテルでの支部
総会々場の一隅にてバザーを行
いました。会員の手作りの品物ば
かり二〇種類三百点以上。毎月末の
一日、十余名のメンバーがおし
べりに花を咲かせつつ手
もろり動かし作り
あげました。思い出の着
物地が、袱紗、懐紙入れ、
香り袋、のれん、テー
ブルセンター、小袋等に生
まれ変わり、「孫におみ
やげにね」「外国の友人
にプレゼントするのに良
いわ」と大人気。盛況の
うちに終了し、売り上は
十一万円にもなりました。
皆様のお役に立てるよう使い道
を考えております。ありがとうご
ざいました。

(佐藤慶子S43・文英)

若草の活動報告と予定

- 平成9年
5月25日(日) 第5回若草定例会
7月2日(土) ぶらり神戸
10月11日(土) 第2回若草コンサート
平成10年
1月17日(土) 若草新年会

若草新年会へのお誘い

時：平成10年1月17日(土)
午前11時30分～午後2時30分
〃 11時よりロビーにて受付
所：伊丹第一ホテル4F
日本料理 “いな乃”
電話 0727-77-2270
阪急伊丹駅から徒歩5分 JR伊丹駅から徒歩7分
参加費：5000円
会食後 カルタ会なども
申込みは 12月末までに



平成9年度 若草運営委員 (尼崎・伊丹地区)

- 伊藤 恭代 (06-429-4432)
大山 弘美 (06-419-5723)
三上 孝子 (0727-70-6059)
宮本 明子 (06-416-6388)

“ぶらり神戸”

—ランチバイキング
で楽しく二才から

七十代まで—

七月十二日、メリケンパークオリエンタルホテルに十七名の会員が集い、和やかな会食と散策の一時を過ごしました。梅雨の最中、あいにくの小雨もなんのそのランチバイキングの色とりどりの料理の前に、食生活のこと、かつての学食のお気に入りメニューのこと等、賑やかに楽しいひとときを持ちました。

食事の後、自己紹介や近況報告をまじえて会合を持ちました。そ



のあと十二名は神戸港めぐりの船に乗り、小雨煙る神戸港を見物。大きな外国船や潜水艦を船上より見て回り、港神戸の歴史と発展にふれることができました。

今回、若草の催しには、初参加という若い世代も数名、また子供も七名集まり、親子共に楽しい交流がありました。これからも、幅広い年代層の会員の方にお集まりいただいで楽しい会にしたいと委員一同話しあいました。

(伊藤 恭代 S56・理修化)

睦会に参加して

増田久美子 (S26・理)

私達は六十歳で睦会のお仲間に入るようになりました。

平成七年第二十回の睦会では、私達卒業年度の者が当番をさせて戴き、同期者中十二名程で分担して、秋の一日、宝塚ホテルで開催しました。その年は震災直後として転居を余儀なくされた方が多数ありましたにも拘わらず、三十八名の出席でお食事をしながら懇談、浅野支部長様のお話、内山美智子様のお話と折紙、吉田俊子様御持参の作品ちぎり絵の展示など、心温まる集まりでした。出席者の上田ゆくえ様が睦会創設に特に熱意をもって当られましたこと、この会への抱負をお話しになり、私達もこの会を大切に続けてゆきたいと感じました。その三か月後に御逝去になり残念に思います。

平成八年は、女高師最終と大学最初の方の御苦労で、ポトピア風月堂で開かれ三十六名出席いたしました。当日は、印部すゑ子様「真の豊かさとは何か」と題して熱心にお話し下さり、私は幸いその内容メモを今も大切に時々見直しております。印部様はその前

の日、四国の旅から帰られ、翌日は又何処かという多忙のスケジュールをこなされる程お元気でしたのに、その後今年四月に急逝なされたと聞き驚き、且つ九十歳のご長寿の温顔を思い起こさずには居られません。

睦会にお集まりの皆様は、知性と優しさを兼ね備えられ、何時でもお姉様とお慕いしてゆきたい方ばかりで、この場の自分の幸せをつくづくと感じるのです。高齢になる程、人は種々の事柄から、望むと望まざるに拘わらず難されてゆきます。このような時に得難く有難いことは同窓の先輩、友人です。一緒に歌う校歌の中で「ふるきをたずね新しき道に…」の時感じることは、如何に世の中が変遷しても、私達がその生涯の大半をかけて形成した価値観と判断力を失わず、新しい事物を追求してまいりたいことです。

睦会の席に招いていただいて「あ、良かった。又来年も皆様にお会いしたい」という安堵と期待を抱くのです。

秋ひと日楽しきのみを語り来ぬ

睦会平成九年度当番

森田絹子、貴田康乃
中野久子、湯浅夏子

川西の歴史探訪

多田神社

松本 嫩子 (S26・家)

多田神社の附近は多田院とよばれ川西市のほぼ中央に位置します。北から流れる猪名川はこの多田院で東に曲がり、更に桜馬場で右折して池田市との境界になり大阪平野に通じます。

一千余年前、山や川に囲まれた要塞のようなこの多田荘に、清和天皇曾孫源満仲が一族郎党を引き連れて京都より移り住みました。当時は源姓を賜っても上流貴族として中央社会にとどまることはむつかしかったのです。西国街道にも近く、能勢を越えると京都に通じる利便なこの地を本拠地として、周辺の住民を支配し、新田を開拓、河川、鉱山事業など功績をあげ、源氏の勢力を伸ばして中央権力が介入できない地域、中世武士社会の原点、清和源氏発祥の地となりました。九七〇年(天禄元年)満仲は多田院を建立。その後、金堂、

法華堂、常行堂、鐘楼などの伽藍が並ぶ大寺院となりました。九八

六年満仲は出家し、九九七年八十五才で他界。遺言で多田院に葬られました。本殿の北に廟所があります。明治四年神仏分離で仏舎を廃して多田神社となり現在に至ります。源満仲、源頼光、源頼信、源頼義、源義家が祭神です。頼光は武将で酒吞童子退治は有名。各地に多くの伝承が残っています。一万六千坪の境内は濠で囲まれ、外郭と内郭の二重になって、外郭は南大門、東門、西門、社務所、



宝物殿など。内郭は随神門、拜殿、本殿、神馬舎、神輿庫など重要文化財に多数指定されて、雄大、清浄な神域です。老樹木、日本一と称せられる唐椿の名木などが鬱蒼。野鳥の楽園。南大門石段下を流れる猪名川の礫に砕ける瀬音は昔も同じと思われまます。

第三十四代福本賀郎宮司は、「狐や兎が神社の森の中を走ります。奈良女子大史学科からも数千点陳列の宝物殿などを研究に來られました」と話されました。満仲が開発した多田荘。後年昭和の大開発がこの一帯を大規模な住宅地に進行させました。神官が「その人の考え方で参拝していただいていたのです」と言われましたが、実在した人物が祭神であり、由緒をたずねて、多田の森に一層親近感を覚えます。

本年は満仲没後一千年に当たります。貴乃花・曙両横綱の土俵入りが奉納され、八月二十三日から萬燈会。十月二十六日、二十七日一千年大祭が行われます。

能勢電鉄多田駅から老桜樹が並ぶ里道を西へ約一キロメートル。または川西能勢口駅より阪急バス「多田神社前」下車、赤い御社橋を渡ったところが正面南大門です。

鈴木 玲子 (S26・家)

山藤の滝いく重にも能勢の里
多田源氏鳴動文書夏つばき
萬燈会みどりのしじま迫りおり



御社橋を望む

満願寺

宝塚市に川西市の飛地があります。ここは満願寺由来の地域です。満願寺は多田院と密接な関係があり、源氏ゆかりの祈願寺でありました。明治初年、多田院の神仏分離の際、多数の仏像が満願寺に移されました。満願寺の山門は一見中国風漆喰塗りの珍しい形で、その左右に分けて仁王像が安置されていますが、この仁王像も多田院の南大門から移されたことが明らかです。

多田院の活動は、兵庫県下、京都、奈良に及び、奈良西大寺とも不離の関係がありました。(西大寺の鐘は多田院から移されたもの) 満願寺には、中世の石塔、鎌倉、平安時代の仏像が今に伝えられ、書院の庭園が美しく見どころがあります。 阪急電鉄「雲雀丘花屋敷」駅から、阪急バス「満願寺前」下車すぐです。

川西市郷土館

(表紙絵によせて)

磯部富佐子 (S53・理生)

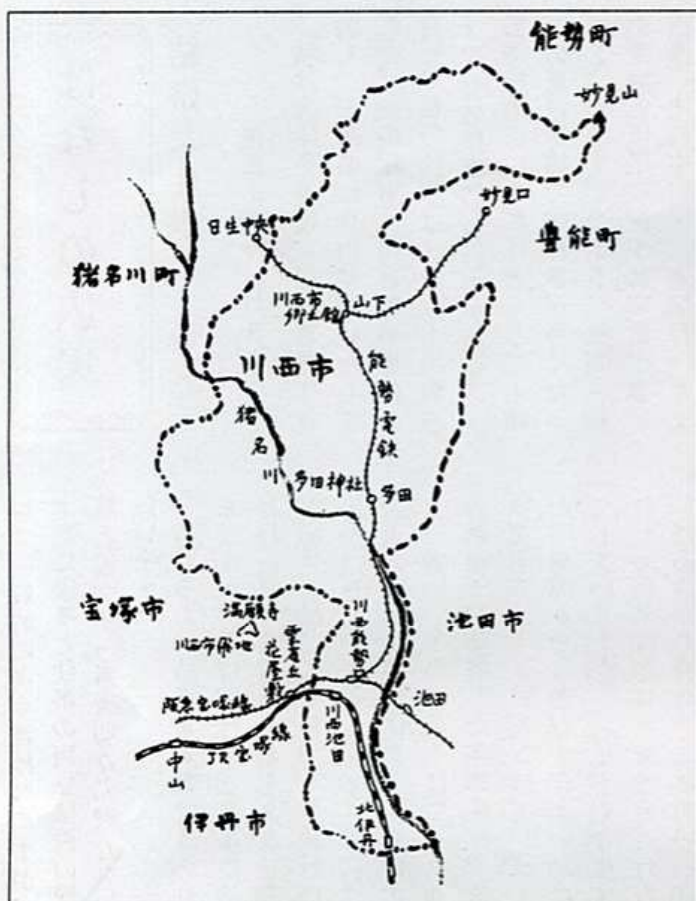
表紙絵は、現在川西市郷土館として公開されている旧平安邸のスケッチです。川西市郷土館は、多田銀銅山最後の製錬所として昭和初期まで操業していた平安家の旧邸宅を利用し、昭和六十三年に開館されました。館敷地内には、平安製錬所跡、旧平安邸、旧平賀邸、ミューゼルスポール等があります。 多田銀銅山は、北摂に広がる鉱脈で、採掘の最盛期は桃山時代(豊臣秀吉の経営)から江戸時代にか

けての頃でした。郷土館周辺の山下町下財屋敷も製錬町として栄えました。

旧平安邸は、この地方の伝統的な民家の特徴と、明治以降広まった数寄屋風造り、また、技術的な革新と近代性も備えた建物として大正中期に建てられました。大正期の生活を知る重大な建物といえます。

旧平賀邸は、平賀義美博士が大正七年猪名川沿い小戸に建設したイギリス田園住宅の形式を遵守した洋館で、平成二年に移築復元されました。外観は出窓と煙突がアクセントとなっており、内部は客間、書斎、寝室等の部屋、ステンドグラスが各所にあり、暖炉、出窓、二重窓など、端正で洗練された意匠で統一されており、大正期の住宅の典型として日本の近代建築史上重要な建物といえます。また、多くの公職、財界の要職につかれた博士が、化学者でもあったことから、実験研究棟、東屋等も隣設復元されています。

ミューゼルスポールは、渦巻き状の円形のモダンな建築物で、川西市ゆかりの青木大乗(日本画)・平通武男(洋画)両画伯の遺作が展示されています。



はなしの広場

結婚と仕事

南出あゆみ (H4・理化)

私は大学卒業後、三菱電機に就職し、三年前に社内結婚いたしました。夫の仕事は化合物半導体の設計、私の仕事はメモリーの製造プロセス技術。設計の夫に比べ、製造技術にいる私はどうしても地方の量産工場での仕事が多くなっています。つまり、世間一般の家庭とは逆に夫が留守番、妻が出張、それも一・二週間行っただけという状態です。周囲からは「出張大変ね」などと言われますが、物は考え様で、出張の間は家事はしなくていいですから、息抜きしていると思えば出張も楽しいものです。

私が出張している間に夫は：と、いと、さすがが六年間一人暮らしをしていただけあって、ちゃんとつくりおきしておいたおかずと、得意のフライパン料理で、外食もせずに家で食事をしているのです。出張から帰っても流しに洗う物がたまっていないのはうれしいです。

ね。一般的によく言われますが、本当に家事と仕事の両立は夫の理解と協力が一番大切なんだな、と思います。

もちろん、結婚＝家事ではありません。平日は、仕事と家事に追われる日々を送らざるをえません。が、休日は二人でゆっくり旅行に出かけたり、スポーツをしたり、二人の時間を存分に楽しんでいます。幸い、冬のスキーは二人共通の趣味で、結婚した年の冬は、ほぼ毎週末スキーに出かけていました。周囲からは遊びすぎといわれてしまいますが、「子どもが生まれてから何年間かはあまりうごけないだろうから今のうちに思いっきり遊ぼうね」と、意見が一致しています。

まだまだ二人でやりたいことや行きたいところがいっぱいあり、仕事も今が大変だけど充実しています。結婚と仕事が今丁度バランス良く両立しているというところでしょうか。

過ぎし日のこと

宮田 康子 (S26・家)

より良い生活環境を目指している現在、教育上でも環境面を重視した中で指導されている学生を羨

ましく思うことがあります。物事の二面性を考える時、恵まれ過ぎに対する危惧の感もありますが、何れにしてもその人の生きていく時代の影響は強く、私達の年代は自分の考えとは別に時代に押し流されていきってきた部分があります。私は父の会社の関係で小学校・中学校共に上海で過ごしました。他の引揚者には申し訳ない生活をさせてもらいました。しかしその反動で日本に帰国してからは、爆撃で何もかも失った方達以上に大変でした。その中で奈良女高師に入学でき、寮生活も体験して楽しい思い出をつくることも出来ました。卒業後は高校教師、退職、結婚して三女を育てました。文字に書くとは簡単ですが、時代も生活環境も悪く、自分の考えている方向に進むのは困難で暗中摸索、大袈裟な言葉ですが、苦悩の日の連続でした。上海の時に修道院の仏人シスタープレセンタシオン先生に習った刺繍に自己流ですが手を加え仕事をしたのも苦勞でしたが形を変え今に役立っていると思うのです。しかし私自身はこのままではいけないと考え、主人の助言もあり、上海での大学進学の時から進められておりました栄養方面を学びたかっ

たこともあり、お世話になりました長谷川先生の研究室の門を叩きました。学問をするのに時期について躊躇することは無いという言葉にほっとしました。研究生として通いその後、神戸女子大家政学部に入ることができました。以来研究室にも行っているのですが私の能力不足で未だその成果は上げられず申し訳なく思っております。女子大では平成元年にオール電化キッチンの新設備が整備されました。幸運にもその2年以前、自宅



に電化キッチンの設備を取り入れておりましたので、私のような者でも自信をもって学生指導に当たることができました。また総合講座として「女性と健康」分野で半期2回のみですが、栄養・調理・健康等について担当しております。北欧・中央ヨーロッパをまわり、産業革命ころからの電化設備に対する考えにより、整備されている老人ホーム・マンション等のキッ

チン関係をスライドにして見せたりしております。

私見で恐縮ですが、始めに考えたことを大切にその方面に進むのがよいと思っております。また、考え続け、やり続けることは、別の道に行ったときにも役立つものと考えております。

私と登山

萬代千鶴子（S31・文教）

中高年の登山がブームであると聞く。テレビで「中高年からの登山学」が放映されている。画面を見ているだけで自分も一緒に登っているような気分にはせられて森林浴の心地良さや急な坂道のしんどさを共感しているのだ。実は私もブームの加担者の一人かも知れない。アルプスなどに挑戦しているわけではないが、六甲山系の山々や北摂山系の山、湖西の比良山などに登った。登山の醍醐味を殊更述べるまでもないことだが、家事に明け暮れしている日常性、人間が生きていく中に付いて回る様々のいさかい（事柄での話）から解放されて、自然を相手に格闘している時は、大自然の中に自分を思い切り開放させ自然とのみ戯れていることの出来る至福の時を感じ

る。高年になって自分の時間に余裕が出来たこと、かねてから登山への欲求があったこと、運良く信頼の出来る善きリーダーに恵まれたこと、そして何よりも、普段から体力の低下を最小限にと気配りをしてきたことなどの条件が整ったとき、気が付いていたら同じ仲間と山の散策をしていたというわけだ。

これらの条件の中で「普段からの体力作り」は簡単ではない。思えば何年もの間、体力の低下をく



い留めようとこつこつと頑張ってきたことになる。主婦が元気で家事をこなせば家族の為に幸せなことだという大義名分のもと継続してきた事が、老後の生き方に明るい展望をもたらしてくれた。次の登山が楽しみな今日この頃である。

老後の住宅を考える

奥山佳世（S48・家修住）

年をとると足腰の衰えや指先の腕の力、視力の低下は避けられず、住宅改造を余儀なくされる場合があります。また最近では床段差を解消し、手すりや半埋め込み浴槽、レバー式水栓などを設置した加齢対応住宅も出ています。しかし、実際に取り付けられたこれらの設備が、必ずしも使いやすくないことが、高齢者向け集合住宅の調査でわかりました。

例えば、便所の縦手すり（またはL字型手すりの垂直部分）は、便座の真横にあると立ったとき体が後ろに引張られるため、便座に座った状態で少し前の方、即ち足のつま先の横に取り付けられなければ、有効に働かせません。また、浴槽出入りのための縦手すりは、浴槽の縁の真上がよく、洗い場寄りがあると役に立ちません。斜め手すりは力が入りにくく、手がすべる恐れがあります。手すりの太さも問題です。一般には直径3〜4センチが握りやすいようです。使えない手すりはかえって邪魔になることがあります。

浴室と洗面脱衣室の間の段差を解消するために、洗い場にすのこを敷く場合は、洗い場いっぱいになることを考えると小さく分割する必要があり。また、すのこを敷くと浴槽の縁の高さが低くなるので、埋め込み浴槽の場合は注意が必要です。浴槽の縁の高さ（またぎ高さ）は35〜40センチが理想で、これより高過ぎても低すぎても入りしにくくなります。

台所のシンクや洗面台に、指先の力のいらぬレバー式水栓（シングルレバー混合栓など）が多く取り入れられています。中には水量調節がしにくいものもあり、湯水のはね返りの苦情をよく聞きます。住宅内の各水栓の操作方向がばらばらの場合、パニックに陥る人もあるようです。

以上はほんの一例ですが、高齢化対応仕様の住宅を建てる場合や、改造する場合は、このようなきめ細かい配慮が必要です。また、手すりを取り付けるかわりに適当な高さの台を置く、タオル掛けを頑丈なものにするなど工夫して、最初から大げさな改造をしすぎないことも大切だといわれています。

思い出

郷 美美枝 (S8理)

印部先生の御急逝は知る者皆の驚きであり、深い追憶と、思考へのお導きであったと思われる。私は七才で父を失い母の実家で小学校二年から過ごした。淡路のご生家と同部落、家族ぐるみの付き合い、五年先輩の後を女学校女高師と、戦後校長になられても校種地域は違うが同志として続いた。先輩ですと申しては社会的信用を得た。種々の会合の運営にも幅広く安心の雰囲気。誇りと光栄に甘えての連続であった。県会答弁でもホンマの女かと云った人があったと笑わせ聞かされた。県下で素敵に生きる女性六人衆。強さを秘めたしなやかな女性とも。正にその通り。最後に会ったのが三月二十日ミス兵庫里帰り展除幕式。昼食を共にと喫茶室で休憩。亡くなられてから其の時の話題の中に日頃考えられないお言葉があり、胸が傷んだ。疲れていたのだと。神ならぬ身の不甲斐なさ。「行く処があるからもう帰る」と態々会場迄、お別れの言葉になった。常に、人、営みに対し愛、誠、情熱、行動で応えていた。

二人のスナップを机上に。

前田タケコ先生

出版祝賀会

芝 美代子 (S43理化)

三木市の前田タケコ先生が米寿を記念して「元気で長生きは食事から」を出版されましたので、六月二十九日に祝賀会を持ちました。地区会員以外に、県会議員、三木市長、教育長、浅野支部長、そして前田先生の知人、教え子の方々ご出席のもと(55名)、先生の若さや業績を盛大にお祝い致しました。

佐保婦人学級からのご案内

佐保婦人学級は本部からの要請もあって、公益事業の推進の一端として、社会一般の方とも親睦を深めながら、生甲斐を求めて有益なことを学びあっているという趣旨のもとに、故津野貞子支部長によって創設されました。年間十回の会合を持ち、自由に色々な角度から学習を重ね、お互いに人格を高めるよう努力しています。どなたでも参加できます(佐保会員以外の方も)ので、是非申し込んで下さい。なお年間行事予定は下の表の通りです。

年会費 三〇〇〇円

当日のみの会費 五〇〇円です。申し込みは、下の表の佐保婦人学級連絡先まで。

学級連絡先まで。

平成9年度 佐保婦人学級行事 (第15回)				
月 日	内 容	会 場	時 間	講 師
H9年 4. 19 (土)	開講式 気功について	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	浅野支部長 根岸 宏子氏
5. 17 (土)	見学 「あしや喜楽苑」	あしや気楽苑 0797-34-9287	13:00~15:00	
6. 24 (火)	俳画 (草花)	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	那須 瑞子氏
7. 10 (木)	食生活と健康	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	浅野 晶子氏
9. 24 (水)	手作り小物	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	都筑久美子氏
10. 25 (土)	和弘美術館 フランス料理	和弘美術館	9:30~17:00	並川 明子氏
11. 28 (金)	習字 (年賀状)	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	川口登美子氏
H10年 1. 21 (水)	旅の話	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	八木 静子氏
2. 20 (金)	国際交流 あらかると	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	佐藤すなほ氏
3. 19 (木)	閉講式 (茶話会)	神戸市 勤労会館	13:00~15:00	浅野支部長

佐保婦人学級 連絡先			
坪根 ミキ (S16理B)	東灘区	電話	078-452-0550
山川はる江 (S19保)	尼崎市	電話	06-431-4856
大久保勝美 (S31文国)	北区	電話	078-591-2493
寺田 翠 (S37文幼)	明石市	電話	078-911-5364

平成8年度会計報告並びに平成9年度会計予算

収 入 の 部			支 出 の 部			
費 目	平成8年度決算	平成9年度予算	費 目	平成8年度決算	平成9年度予算	
前年度繰越	2,284,956	2,201,820	本部会費	1,042,000	650,000	
会費	2,147,000	1,350,000	総会補助費	127,727	130,000	
内訳	本部会費	1,042,000	通信印刷費	143,581	270,000	
	支部会費	1,105,000		交通費	57,220	60,000
預金利息	253,486	57,000	事業費	名簿印刷費	428,892	10,000
本部より補助	57,840	85,000		名簿送料	264,590	3,000
寄付	4,000	0		支部だより印刷費	180,000	200,000
合計	4,747,282	3,693,820		睦会補助	30,000	30,000
				若草補助	30,000	30,000
				佐保夫人学級補助	30,000	30,000
				リーダー会経費	42,435	45,000
				慶弔費	57,077	70,000
				事務費	108,400	115,000
				予備費	3,540	7,000
				小計	2,545,462	1,650,000
				次年度繰越	2,201,820	2,043,820
				合計	4,747,282	3,693,820

資産内訳 (H 9. 3. 31 現在)

		別途友愛貯金
定額郵便貯金	1,991,000	1,120,000
郵便貯金	118,001	6,083
振替貯金	545	計 1,126,083
現金	92,274	
計	2,201,820	

平成9年度 地区リーダー及び活動状況

地区名	氏名	年次	活動状況	地区名	氏名	年次	活動状況
東灘区	久保伊希子 松尾 薫	S51家住 S47理化	毎年一回秋～冬にお食事とお喋りで 楽しみます 今年の期日は未定	宝塚市	市丸佐和子 塚本 澤子	S29文社 S29家住	11月16日最寄り会開催予定
灘区	田辺 富子 寺尾富美子	S24理 S33家住	1月26日最寄り会さなみにて開催 4名出席返信は27名中19名	川西市 川辺郡	川口登美子	S39家食	支部だより編集で10人程が何回も 会合 最寄り会は本年度は無し
中央区	右田 俊子	S52理物	H8年11月9日合同最寄り会開催	明石市	内匠 慶子 寺田 翠	S18保 S37文幼	9月27日最寄り会開催予定
兵庫区	田中加代子	S47文教	次回10年春の予定	加古川市	田中 洋子	S44家食	
長田区	藤田セツ子	S33家住		高砂市	塩谷 迪代	S34家食	
北区	森田 絹子 小池 典子	S29理数 S33文英	能の観賞第一回7月20日三井寺解説 第二回9月6日	加古郡			
須磨区	山田 桂子 岡本 悦子	S31文幼 S37家被	4月12日奥須磨公園で観桜会 弁当持参	三木市 加東郡	芝 美代子	S43理化	6月29日S6卒前田タケコ氏の 米寿記念・出版祝賀会実施 佐保会員以外の方も多数出席
垂水区	竹田喜代子 東 卓子	S22臨数 S30文国	2月9日舞子ピラ最寄り会出席 14名 次回H11. 2開催予定	西脇市 小野市	村田 好子	S39家食	
西区	甚目 律子 小幡 京子	S36家食 S51家被	6月14日第2回最寄り会13名出席 近況報告中心	姫路市 相生市	安東 和子	S38理植	5月17日最寄り会開催 於 姫路キャッスルホテル 出席者14名 来年度も5月に予定
尼崎市	山川はる江 鈴木 久子	S19保 S37家食	2月2日アルカイックホテルで昼食 後ホールでオペラ観賞 次回未定	赤穂市 赤穂郡			
西宮市	永吉 和子 北川 清子	S34理化 S40家食		龍野市 揖保郡	塚本富貴子	S33家住	
芦屋市	春田 君子 光長紀美子	S26家 S34理動	11月頃見学会と茶話会実施予定	神崎郡 三田市	鎌谷 君子	S39家食	
伊丹市	塚口 郁子 都築 暎子	S35家住 S37家食	11月9日最寄り会開催予定	淡路地区	大山 明美	S31理数	最寄り会本年度は開催不可能 来年度は是非

事務局便り

- 平成8年度事業報告
- 平成8年4月26日 第14回佐保婦人学級開講式
- 6月23日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び第4回「若草」定例会開催
- 10月5日 地区リーダー会開催
- 10月22日 睦会開催
- 11月 第20号「支部だより」発行(伊丹地区担当)

- 11月 名簿作成・発送
- 平成9年1月11日(新年会開催)
- 3月19日 第14回佐保婦人学級閉講式
- 平成9年度事業計画
- 平成9年4月19日 第15回佐保婦人学級開講式
- 5月25日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び第5回「若草」定例会開催

- 8月27日 地区リーダー会開催
- 10月11日 第2回「佐保会若草コンサート」開催
- 11月 第21号「支部だより」発行(川西市・川辺郡担当)
- 平成10年1月11日 新年会開催(於 六甲荘)
- 3月19日 第15回佐保婦人学級閉講式

平成9年度 支部役員

	役員名	氏名	年次	住所
A 支部役員	支部長	浅野 晶子	S 2 3 家	中央区
	副支部長 (若草代表)	大久保勝美	S 3 1 文 国	北 区
		伊藤 恭代	S 5 4 理 化 S 5 6 理 修 化	尼崎市
	事務局	吉江 順子(名簿)	S 3 5 文 社	宝塚市
		瀬川 順子(会計)	S 4 1 文 英	中央区
射延 瑞枝(地区リーダー)		S 4 2 家 被	三木市	
藤井 勢子(書記)		S 4 8 家 食	中央区	
会計監査	内匠 慶子	S 1 8 保	明石市	
	東 昌子	S 1 9 文	芦屋市	
B 本部役員	監 事	立花 紀子	S 3 8 理 数	東灘区
	本部理事	佐藤すなほ	S 1 9 家	尼崎市
		浅野 晶子	S 2 3 家	中央区
	本部評議員	山川はる江	S 1 9 保	尼崎市
		大久保勝美	S 3 1 文 国	北 区
吉江 順子		S 3 5 文 社	宝塚市	
寺田 翠	S 3 7 文 幼	明石市		
佐保短大理事	八木 静子	S 9 文	須磨区	
	浅野 晶子	S 2 3 家	中央区	
	大学婦人協会 役員	鈴木 久子	S 3 7 家 食	尼崎市
藤岡 利子		S 3 8 家 被	尼崎市	
C 支部活動委員	支部だより21号 編集委員	鈴木 玲子	S 2 6 家	川西市
		松本 嫩子	3 2 6 家	"
		宮田 康子	S 2 6 家	"
		安屋 妙	S 2 6 家	"
		井上千恵子	S 3 8 家 被	"
		川口登美子	S 3 9 家 食	"
		多胡 京子	S 3 9 理 教	川辺郡
		谷口ミサヲ	S 4 1 文 地	川西市
		石原 範子	S 4 7 理 物	"
		奥山 佳世	S 4 8 家 修 住	"
		磯部富佐子	S 5 3 理 生	"

編集後記

21号製作に当たり、皆様より原稿をいただきありがとうございます。何回も集まり協議を重ねましたことは「もより会」の仲間作りに大きな役割を果たしているように思いました。今後はこの輪が広がるよう願っております。

(川口登美子 S 39・家食)



川西市の花
りんどう

平成10年度支部総会
平成10年5月31日(日)
神戸ポートピアホテル
和楽の間